



ごみ減量にご協力ください!!

町のごみ排出量

今年度のごみ排出量(図1)および一人あたりのごみ排出量(図2)は、前年度と比べると資源ごみは同程度、燃やせるごみ、燃やせないごみは減少する見込みとなっています。

燃やせるごみ、燃やせないごみ共に有料化が始まった平成17年度には大きく排出量が減少し、その後は同程度で推移しています。

今後、より一層排出量を減らすため、更なるごみ減量や徹底した分別をよろしくお願いします。

ごみ排出内容分析結果

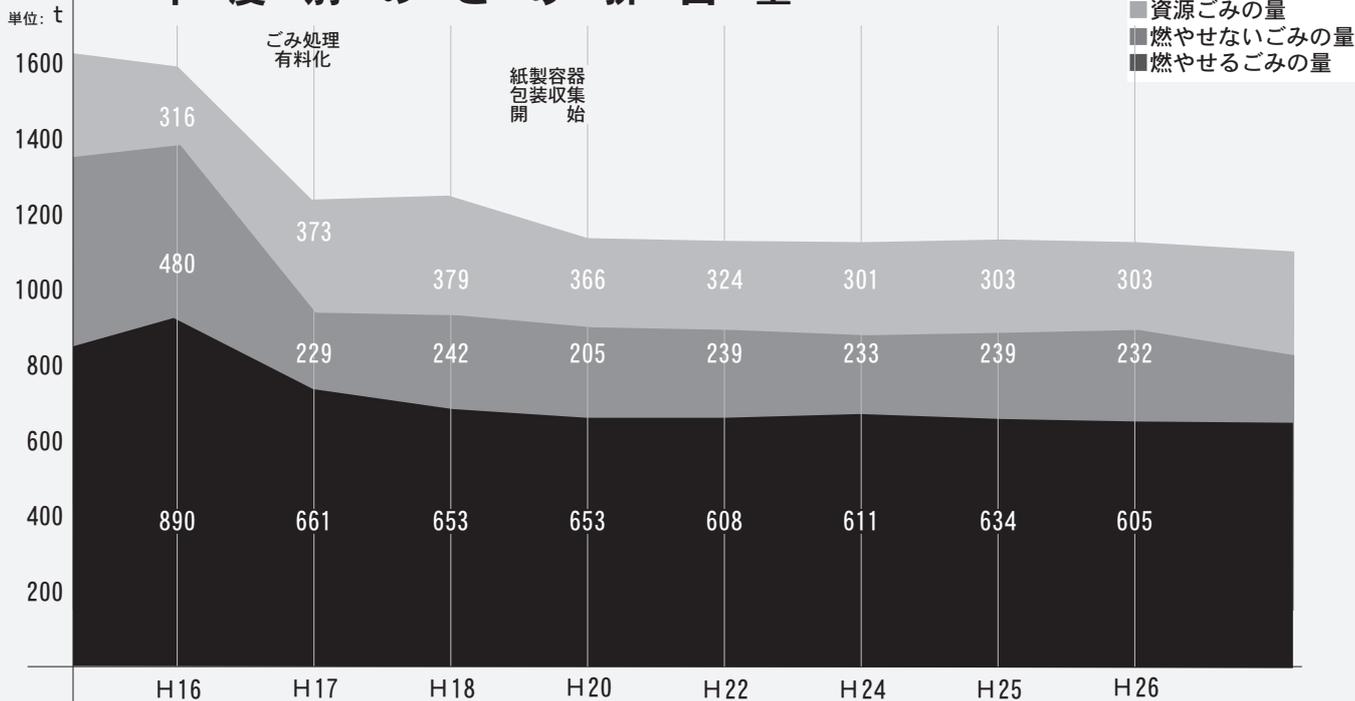
清里町では、年に4回、燃やせるごみ、燃やせないごみの排出内容を分析しています。(図3)

燃やせるごみの中には、燃やせないごみや資源ごみなどのごみが約2割混入していました。中には空き缶やペットボトルなどの資源ごみが燃やせるごみとして捨てられています。

燃やせないごみの中にも、燃やせるごみや資源ごみなどのごみが約3割混入していました。生ごみや紙製容器包装などが

※平成26年度の数値については、年度途中のため4月～12月までの実績から推測した数値です。

(図1) 年度別のごみ排出量

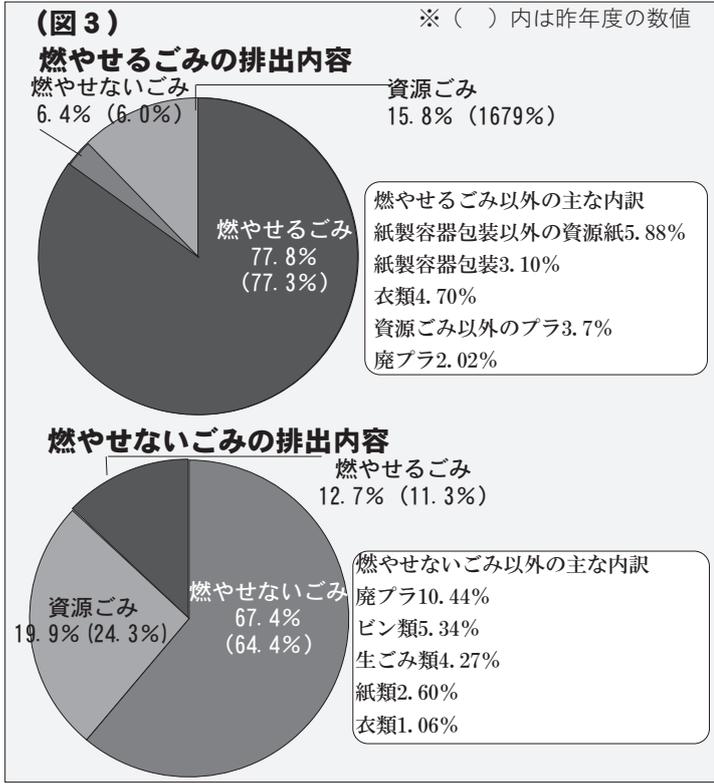


(図2) 一人あたりのごみ排出量

単位 (kg)

	H16	H17	H18	H20	H22	H24	H25	H26
燃やせるごみ	178	135	136	128	134	137	142	136
燃やせないごみ	96	47	50	44	53	52	54	52
資源ごみ	63	76	79	79	72	67	68	68
計	337	258	265	251	259	256	264	256

※平成26年度の数値については、年度途中のため4月～12月までの実績から推測した数値です。



燃やせないごみとして出されていきました。

資源ごみは収集後、リサイクルセンター職員が手作業で分別しています。この中にも、燃やせるごみや燃やせないごみに比べると異物混入が少ないですが、紙製容器包装の中に割れたガラス瓶の破片が混入していたり、廃プラスチックの中には、注射器が混入しているなど、職員のけがなどの恐れがあります。

分別は、手間や時間もかかる面倒な作業ですが、マナーを守りごみの分別と減量化に

努めましょう。

ごみの捨て方見直してませんか！

ごみは生活で一番身近な問題です。町民皆さまと町が情報を共有し、一緒に考え、協働を一歩ずつ進めていくことが大切です。ごみ処理にかかる経費には、税金や有料ごみ袋の料金などが使われています。

ごみが増え続ければ、ごみを処理するための経費も増え続け、皆さまの負担も増加し

ダイオキシン類の測定結果

8月から12月にかけて行ったダイオキシン類の測定結果は、国の基準を大きく下回り、安全性が確認されました。

ダイオキシン類はプラスチック・ビニール類を焼却した時、焼却温度が低くなった時に大量に発生します。ダイオキシンの発生を抑えるため、分別の徹底、生ごみの堆肥化や堆肥化できない場合は、十分に水分を切って排出してく

ます。特に燃やせるごみ、燃やせないごみの排出量を減らすことで経費の負担は減少し、今使っている清掃センター、最終処分場などの延命化につながります。

ごみの排出量をなくすることはできませんが、分別の徹底、汚れを落とすなどひと手間かけて資源ごみとして排出することで燃やせるごみ、燃やせないごみの量を減らすことが可能です。また生ごみを十分水分を切ることで量を減らすことができます。

住みよい環境を次の世代に残すためにも、毎日の生活を少しだけ見直してみませんか。

ごみ分別説明会

ごみ分別に係る説明会や清掃施設の見学会等を随時受け付けています。実施を検討されている団体は役場町民課町民生活グループにご相談ください。

詳細
町民課町民生活グループ
0250-33577

図4 ダイオキシン類の測定結果

測定項目	国の基準値	H13	H25	H26
排ガス	10ナノグラム以下	1.1	0.1	0.11
焼却灰	3ナノグラム以下	0.19	0.035	0.004
土壌	1000ピコグラム以下	5.8	0.012	0.014
放流水	10ピコグラム以下	0.0035	0.000057	0.0002

排ガス：清掃センターから排出される煙
 焼却灰：焼却したごみの燃えかす
 土壌：清掃センター横にある江南牧場の土
 放流水：最終処分場で処理した水

ナノグラム：10億分の1グラム
 ピコグラム：1兆分の1グラム

ださい。これらは、施設の延命化にもつながるため、今後も安全な基準でごみ処理ができるよう町民皆さまのご協力をお願いします。